

1 災害の危険性等を「知る」

県民行動	新たな取組（案）
<p>住んでいる所や日常活動している所の周りで想定される災害の危険性を知る</p>	<p>「災害危険箇所」及び「災害の種類に応じた避難する場所・避難経路等」の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県防災 Web を知ってもらうため、広島県防災 Web 関係サイトの掲載情報等を盛り込んだパンフレットの作成と啓発 ○ 出水期前等の効果的な時期での集中的な啓発（マスコミ、県・市町の広報誌、新聞折り込みチラシ、店舗レジ横等でのチラシ配布） ○ 高齢者、女性など対象を明確にした防災教室、出前講座等の開催（広島県防災 Web やハザードマップを活用した災害危険箇所や避難場所、避難経路等の確認方法や注意点等を説明） ○ 企業、団体が実施する防災教室等において、ハザードマップ等を利用した災害危険箇所の周知 ○ 生活動線上におけるハザードマップ等を掲示した災害危険箇所の周知（駅、商店街、病院の待合室等へのハザードマップの掲示）

新たな取組（案）の具体的な進め方（案）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県防災 Web のパンフレットによる周知 <ul style="list-style-type: none"> ・県民が「防災への関心を持つ」、「防災の大切さに気付く」ような工夫をしたパンフレットの作成及び県ホームページへの掲載 ・広島県防災 Web のパンフレットを用いて、 <ul style="list-style-type: none"> 学校での児童・生徒及び家庭への啓発 企業、団体での従業員及び家族への啓発 家電量販店、携帯電話販売店等を通じて来店者や、パソコン、タブレット、スマートフォン購入者等への啓発 ○ 広島県防災 Web の体験による周知 <ul style="list-style-type: none"> ・学校での授業や民間のパソコン教室等における広島県防災 Web の教材化 ・パソコン、タブレット等の販売店、パソコン教室などでデモ画面を表示 ○ 災害危険箇所や災害の種類に応じた避難場所・避難経路等の確認の必要性に関する周知 <ul style="list-style-type: none"> ・6月のひろしま防災月間や防災フェアの時期に、マスコミの協力を得て、県民の興味を引くような内容の番組や新聞記事による周知 ・県民が防災への関心を持つなどの工夫をした啓発用チラシを作成し、企業、団体を通じて、従業員や家族への周知 ・スーパーマーケットやコンビニ等、日常的に立ち寄る店舗で啓発用チラシを配布 ○ 災害を自らのこととして捉えてもらえるように内容を工夫した防災教室、出前講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・児童と親を対象とした、知っておくべき地域の危険性等の把握方法や備えに関する講座 ・高齢者等を対象とした、避難行動を行うタイミングや方法などに関する講座 ○ 企業、団体における災害危険箇所の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・企業、団体が実施する社内防災教室の支援体制の整備（講師の派遣、防災教室の進め方、教材等に関する相談窓口の整備） ○ 生活動線上における災害危険箇所の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット、駅、病院の協力を得て、ハザードマップを掲示 ・県民が、新聞折り込みで配布される町内住宅案内図等にハザードマップの災害危険箇所や避難経路等を記入するよう働きかけ

1 災害の危険性等を「知る」

県民行動	新たな取組（案）
災害の種類に応じた適切な行動をとるために必要な情報を知る	避難のタイミングの判断に必要な情報の意味，入手方法の周知 ○ 携帯電話契約時における県及び市町の防災情報メールの周知・登録の促進

新たな取組（案）の具体的な進め方（案）
○ 防災情報メールの周知・登録促進 ・携帯電話販売店に防災情報メール周知用のチラシを配備し，防災情報メールの登録を促進 ・新入学の児童・生徒の保護者に対して，防災情報メールの登録を促進 ・他のイベント等の場を利用した防災情報メールの登録を呼びかけ（登録者に抽選で防災グッズを進呈）

2 災害発生をいち早く「察知する」

県民行動	新たな取組（案）
危険を知らせる前ぶれや気象・防災情報を速やかに察知する	迅速かつ確実な住民への防災・気象情報の伝達 ○ 住民に防災情報を確実に伝達するため，停電時の対応方策や防災ラジオ，ケーブルテレビ等の活用事例の紹介，支援により，防災情報の伝達手段を確保

新たな取組（案）の具体的な進め方（案）
○ 防災情報の伝達手段の活用 ・出水期前等の時期をとらえて，県民に対して，テレビのデータ放送やラジオ，インターネットだけでなく，市町独自の防災情報の伝達方法について周知

3 「判断」して適切に「行動する」

県民行動	新たな取組（案）
判断して適切に災害から命を守る行動をとる	災害から命を守るために必要な行動等の習得 ○ 訓練参加者が，地域で継続的に防災活動に参加できるよう，マスコミ，ホームページ，広報誌等を通じ，市町や自主防災組織等の訓練計画を周知 ○ 自ら判断して行動することを促すような訓練メニューの追加等の工夫

新たな取組（案）の具体的な進め方（案）
○ 訓練に継続的に参加できる環境づくり ・県民が防災訓練に参加しやすい環境を整備するため，どこで，どのような防災訓練が行われ，また，参加方法等についても知ることができるよう，県ホームページに県内で実施予定の防災訓練に関する情報コーナーを設置 ○ 防災教室中での図上訓練 ・防災教室において，自宅の近くでの大雨や洪水などの災害の発生を想定し，適切な避難行動を判断する図上訓練の実施

4 災害を「学ぶ」

県民行動	新たな取組（案）
<p>防災教室等で学ぶ</p>	<p>防災教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他の集客イベントとの組合せにより，家族ぐるみで楽しめる参加しやすい環境づくり ○ ゲーム感覚で防災を学ぶ防災ダック等の貸し出し（子供からはじめる防災教育） ○ 運動会の種目へ搬送訓練等を組み込む <p>○ 対象者別（子供，大人，企業等）の教材，カリキュラムの整備</p> <p>○ 企業，団体において防災を担当する者に対する研修</p>

新たな取組（案）の具体的な進め方（案）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県，市町の講演会や民間のイベントとの組み合わせによる開催 <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関係のない講演会や大型商業施設でのイベント等において，講演会等のプログラムの一コマに防災に関するクイズ，ゲームなどを盛り込んでもらう ・防災フェア等において，マスコットキャラクター（着ぐるみ）により家族等を防災の特設コーナーへ誘導 ○ 対象者別に開催する防災教室 <ul style="list-style-type: none"> ・市町，自主防災組織等による防災教室・出前講座における，対象者別（女性・高齢者・学生等）の教材を作成し，提供 ・企業，団体での防災教室における教材を作成し，提供 ○ 企業，団体において防災を担当する者に対する研修会等の開催

5 災害に「備える」

県民行動	新たな取組（案）
<p>いざという時に命を守れるよう備える</p>	<p>家庭等での非常用持出品等の備えの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業，団体等と連携し防災フェア等での啓発の取組方法を工夫 ○ 集中取組期間での広報（マスコミ，県・市町の広報誌，新聞折り込みチラシ）

新たな取組（案）の具体的な進め方（案）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災フェア等において，非常用持出品等の展示・販売を行う企業，団体を県下全域に拡大するとともに，展示・販売を行う企業，団体を県ホームページや広報誌において紹介 ○ 展示・販売を行う企業，団体においては，新聞折込チラシやホームページに防災フェア等の開催などを紹介